

## 2023 年度若手 PI 育成プログラム公募要領

### 1. 趣旨

本学において今後活躍が期待される若手教員の研究教育能力を高め、近い将来において独力で研究を推進し研究室を運営する研究室主催者（Principal Investigator：PI）の育成を目的に、研究経費を配分するものです。

### 2. プログラム概要

#### (1) 申請対象

- ①2023 年度末（2024 年 3 月 31 日）時点で 45 歳以下の本学教員。ただし、教授および客員・特命・特任・特定の教員は除く。
- ② 本学の博士後期課程に在籍中の大学院生
- ③他の公募事業等で助成を受けている研究と同一とみなされる研究提案は対象外

※研究活性化経費に採択されていない者に限る。ただし、研究活性化経費に申請中の者が本プログラムに申請することは妨げない。

#### (2) 助成金額： 単独提案 最大 2,000 千円／年

ただし、大学院生の提案は最大 1,000 千円／年

#### (3) 研究期間： 最長 3 年

#### (4) 採択件数（複数年テーマも含めた件数）

単独提案 最大 4 件

#### (5) 研究成果に対する要件（教員が申請する場合）

- ① 研究期間中または終了翌年度に JST/A-Step または NEDO 若サポに申請すること。  
\* 本プロジェクトは若手研究者の育成を目的としており、RAC と連携して JST や NEDO の申請支援を受けることを推奨
- ② 学術論文投稿または知的財産等の出願を行うこと（論文発表等支援、英語校正等指導に伴う経費は大学負担）

### 3. 応募方法

#### (1) 提出書類：研究計画書（様式 1）

\* 研究推進アドミニストレーションセンター（RAC）・ホームページからもダウンロード可能

注）教員については、科研費申請（R5 年度開始分で不採択のものに限る）と同様の研究内容でも申請できる。

#### (2) 提出期限：令和 5 年 5 月 22 日（月）

- (3) 提出先 : 研究推進課 研究推進係  
(内線 6982、E-mail : [kensien@office.tut.ac.jp](mailto:kensien@office.tut.ac.jp))

#### 4. 選考方法

- (1) 選考は応募書類の書面審査および必要に応じてヒアリング審査に基づいて行う。  
\* 本プログラムの趣旨を鑑み、申請者の職位等に応じて重みづけを実施。
- (2) ヒアリング審査は、提出された研究計画書に基づくプレゼンテーションを基本とし、必要に応じ補足資料を追加することもできる。
- (3) 審査：書面およびヒアリングを通じ、以下の観点を考慮して総合的に審査し、その結果に基づいて、学長が採否を決定する。

##### 〈審査の観点〉

- ・ 研究の独創性・創造性
- ・ 学術的意義
- ・ 研究計画・研究方法の妥当性
- ・ 研究の独立性（学生の場合は将来性）

#### 5. 研究成果の取扱い

- (1) 助成研究の完了後に速やかに成果報告書を提出すること。
- (2) 成果報告書及び成果報告会での発表に基づき、評価を行う。
- (3) 助成対象者は、本助成事業中または終了後、U R A と協力して、JST/A-Step 事業や NEDO 等の活用を検討する。(教員の場合)
- (4) 研究成果に関する論文等の投稿を推奨する。論文投稿支援・英文添削支援を優先的に行う。

#### 6. 予算執行について

- (1) 予算執行は、原則申請時の計画書における経費内訳によるものとし、原則2月末日までに執行を完了するものとします。ただし、申請額と採択額の調整の都合上又は研究遂行上、特に必要がある場合は、採択額の50%未満の範囲内で流用を可能とします。
- (2) 原則、科学研究費助成事業のルールによります(ただし、本予算から人件費(事務補助員等の雇用)及び謝金の支出はできません)。
- (3) 予算の年度繰越は不可。未執行額は返還。

#### 7. 問合せ先

研究推進課研究推進係 阿部  
(内線 : 6982 E-mail : [kensien@office.tut.ac.jp](mailto:kensien@office.tut.ac.jp))